

すまいるん

済生会熊本福祉センター通信

VOL. 78
2025年・秋号

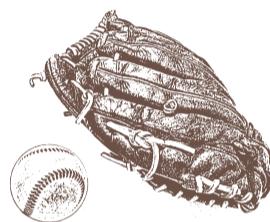
理念 一人ひとりを尊重し、
共に生きる社会の実現をめざします。
基本方針
・利用者主体の福祉を実践します。
・ライフステージに応じた自立を支援します。
・地域社会とつながり共に生きる未来をめざします。

就労継続支援A型・B型
済生会かがやき
就労継続支援B型・生活介護
済生会ほほえみ
就労継続支援A型・B型
済生会ウイズ
共同生活援助
済生会グループホーム事業所

児童発達支援センター
済生会なでしこ園
幼保連携型 認定こども園
済生会しらふじ子ども園
相談支援
済生会熊本福祉相談支援センター
熊本県地域生活定着支援センター



事務局
金崎 光顕



退職のご挨拶

猛暑真っ盛りの7月末日をもって退職した事務局の金崎です。私が福祉センターに入職したのは2009年(平成21年)4月、事務員として済生会熊本病院から異動して、当初は利用者さんとの接し方など不安に思っていましたがすぐに溶け込むことができました。仕事面では福祉施設の"いろは"を理解するのに3年はかかりました。

今、ふり返ると福祉センターでの16年間には様々な事を経験することができました。度重なる福祉制度の改定、施設の建替え、それから熊本地震、新型コロナ感染対策等々、それは自分の人生の中ではとても楽しく貴重な時間となりました。なによりも日々の利用者さんとの何気ない会話、そして懸命に支援される職員の皆さんと仕事ができたこと、福祉とは?社会貢献とは?など多くのことを学ぶことができました。

今年の夏は退職したためゆっくりと甲子園の高校野球を見ることができました。どのチームも一生懸命、決してあきらめずチームのためにみんなのために頑張る姿に改めて感動を覚えました。

私もこれから的人生を社会の一員としていろんなことに向き合い自分なりに頑張っていきたいと思っています。これまでいろいろご厚誼いただきありがとうございました。

2025年8月25日



REPORT

施設見学 受け入れ

済生会かがやき
済生会ほほえみ
済生会ウイズ
済生会グループホーム

障害福祉サービス事業所の4施設(かがやき・ほほえみ・ウイズ・グループホーム)では、毎年5月から支援学校等より施設見学のご依頼があり受け入れをしています。

今年度は、5月~8月までに支援学校6校(生徒58名・保護者47名・教諭26名)、熊本市中央区特別支援学級の教諭(35名)、福岡県の福祉施設職員(16名)より総勢182名の方に見学にお越しいただきました。

見学当日は、多目的ホールに集合し福祉センターの20周年記念動画を視聴いただいた後に施設の概要説明を行い、就労継続支援A型・B型の就労の現場である食品加工棟やクリーニング工場、パン工房、生活介護、グループホームなどを見学していただきました。多目的ホールに戻ってからは、質疑応答の時間を取り生徒さんからは「仕事で大切なことはなんですか」などこれからの自分の進路を決める上で大事なことを質問されました。見学後は、パンの事前注文販売も行い、出来立てのパンを手に取ると自然と笑みがこぼれ、和やかな雰囲気の中で見学は終了しました。

施設見学は、福祉センターを実際に見てもらい概要や雰囲気を知ることで、これから個人の将来像の参考としてもらうことを目的としています。これからもたくさんの方に見学に来ていただき、福祉センターの未来と支援学校の皆さんのが未来が繋がるきっかけになればと思います。



熊本福祉センター 事務員 倉原 知沙

職員研修を実施しました

救急蘇生法・誤嚥予防対策

2025年9月19日・26日、済生会熊本病院より救急看護認定看護師を含む両日3名ずつの看護師にお越しいただき、職員研修会を実施しました。

テーマは「心肺蘇生法と誤嚥時の対策や予防について」ということで、トレーニング用の人形とAEDを使用して実際の動きや注意点の確認を行いました。「心臓マッサージ」や「ハイムリック法」など、知っているつもりでしたが、いざ再現しようとすると難しく感じました。また、日頃から定期的に訓練しておくことや職員間で非常時対応の共通認識を持っておくことも重要だと痛感しました。

『大切な命を救急隊につなぐまで、私たちにできることはなにか』を考えるいい機会になったかと思います。ご協力いただいた済生会熊本病院看護部の皆様、ありがとうございました。



済生会熊本福祉センター 秋祭り in 内田町

- 日時: 11月8日(土) 11:00~14:00
- 場所: 済生会熊本福祉センター

11月8日(土)に内田町において盛大に秋祭りを開催します。各事業所の授産品販売マルシェ&地域のキッチンカーなども多数参加が予定されています。

また、ステージでは、地域の方によるイベントや豪華賞品の当たる抽選会なども予定しております。

皆様の来場を心よりお待ちいたしております。



出店多数参加! 乞うご期待!!



利用者の方も熱中症対策 アンバサダーに認定!!

今年の夏も本当に暑かったです。かがやきのクリーンチームでは暑い中、熱中症対策を万全にして病院室内や外周の作業に頑張りました。水分や塩分の補給はもちろんですが、今年は熱中症対策で2つのことを行いました。1つは外周作業時に送迎車を利用して、エアコンの効いた涼しい車内に休憩をとるようにしました。2つ目は利用者の方も大塚製薬主催の熱中症対策アンバサダー講座を受けて、熱中症対策アンバサダーの認定を受けたことです。おかげで、かがやきから一人も熱中症になることなく、元気に暑い夏を過ごすことができました。それにしても、利用者の方の熱中症対策の意識の高さには驚かされました。これからも皆さんが元気に楽しく作業ができるよう工夫していきたいと思います。



縁日開催!!

●日時:8月23日(土) ●場所:かがやき食堂

8月23日(土)に日中活動にて手作りの縁日を行いました♪

何日も前から職員が準備をし、当日の午前中は利用者に仕上げをしてもらいました。紐くじ、魚釣り、輪投げ、今年お初の金魚くいの4種類です。

魚釣りではお菓子の詰め合わせパックに塗り絵のイラストを貼り、新聞紙を細く丸め釣り竿や輪投げの輪を作りました。午後から縁日スタート!!金魚がぽいから落ちると「逃げた~」とナイスアクション!輪投げが一発で入ると「すごい」と拍手が…とても楽しまれています。楽しんだ後は甘いスイーツで元気補給♡ほっぺが落ちそうになっていました(^^♪



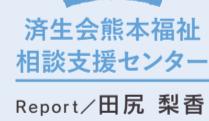
児童発達支援センターの 中核機能における 地域向け学習会

●日時:9月18日(木)

●場所:なでしこ園保育室

なでしこ園では、児童発達支援センターとしての4つの機能を果たすべく、南区の障害児通所支援事業所に向けた定期的な研修会を実施しています。

毎回20名ほどの参加者の皆さんと共に、障害児通所支援において大事にしたいことを、ガイドラインを確認する場を設定したり、なでしこ園での取り組みをご紹介しています。グループワークなども行いながら、自分たちの事業所の課題や考え方などを整理していくれる皆さんとの、真剣で且つ共感的まなざしを見ることができ、私たちの方も新たな刺激をいただいているところです。



「就労選択支援」が始まります!

●日時:7月18日(金) ●場所:ほほえみ多目的ホール

7月18日(金)ほほえみ多目的ホールにて「就労選択支援における連携について」研修会を開催しました!相談支援センターでは、毎月1回、職員研修を行っており、今回は今年10月から新たに始まる制度「就労選択支援」について、外部講師としてサンシャインワークス砂川様をお迎えし、ご講演いただきました。参加者は福祉センター内の関係する事業所スタッフ15名で、制度の概要やポイントの説明を受け、質疑応答の形で開催しました。就労選択支援は、障がい福祉サービスの一つとなります。障がい者本人が就労先や働き方について、「本人の希望、就労能力や適性に合った選択を支援するサービス」です。就労体験や就労アセスメントから、自分の強みや苦手なこと等を知り、自分に合う就労につなげるサービスといえます。これから就労を目指す方や、現在、就労継続支援A型やB型に在籍している方も利用が可能なサービスです。改めて仕事について考え、就労選択支援の利用を検討される方など、福祉サービスご利用についてのご相談は、お気軽に相談支援センターまでご連絡ください。



Report/ 福本 菜々香

ほほえみ体験会

●日時:8月2日(土)・23日(土)



8/2(土)と8/23(土)にほほえみ体験会を開催し、11組の支援学校の生徒さんとご家族の方が参加されました。生活介護では利用者と一緒にプラ板作りやカレンダーしおり作りの体験と普段の生活介護の日常の様子を見学していただきました。また、就労継続支援B型(パン工房ふわり)では、パンやピザ作りの体験をしていただきパン生地の伸びし方や具材の盛り付け方を利用者さんがサポート役となりアドバイスされました。自分たちで制作したプラ板やカレンダー、手作りのパンやピザはお持ち帰り頂きましたが大変好評でした。体験後のアンケートでは「進路先としての選択肢の一つになった」「学校の実習先として利用したい」など嬉しいお言葉を頂いております。多くの方にご満足いただけて嬉しい限りです。今回の開催もほほえみの活動や雰囲気を知っていただけた良い機会となりました。



Report/ 白石 奈美栄

2025 希望荘作品展に出品

グループホーム利用者の皆さんの中には、ご自身の余暇の時間に大好きな家族を思い気持ちを込め少しづつ作品を制作されている方がいらっしゃいます。

この度、熊本市障がい福祉センター希望荘より「2025年度作品展」の出品募集があり、そうした皆さんに作品募集の件を伝えると「出してみたい」と希望があり、更に手を加えて出品することとしました。編み物は毛糸の色の配置を考え編んだものや、折り紙では長方形の厚紙を丁寧に張り合わせ大きな正方形を作り、そこから折り始めるという根気を要する作品でまさに力作です。希望荘に展示され多くの方に見ていただくことで、利用者さんも作品も喜んでいることでしょう。



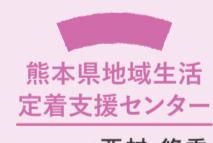
Report/ 高島 唯

ひとり劇じゅんこさんの 「人形劇」

●日時:9月5日(金)



9月5日(金)にひとり劇じゅんこさんに来てにいただき、3グループに分かれて観劇しました。前半の部は未満児クラスを対象にうさぎやガチャウの人形が出てくると、子どもたちも一緒に動きを真似していました。後半の部は以上児クラスを対象にきりんや怖いヘビが出てくる劇を見せてもらいました。ちょっぴり怖いお話でしたが、最後はお友だちになるお話に真剣に見入っていた子どもたちでしたよ。また、腹話術人形の“さんちゃん”は子どもたちに大人気!大興奮で「さんちゃん!」と名前を呼ぶ姿が見られて、とても可愛かったですよ!また、しらふじ子ども園にひとり劇じゅんこさんが来てくださることを心待ちにしています!



Report/ 西村 悠香

第2回 矯正・地域つながる会議

●日時:7月24日(木)

●場所:熊本刑務所



熊本県地域生活定着支援センターでは、7月24日に「第2回 矯正・地域つながる会議」を開催しました。この会議は、地域の福祉・医療機関の方々を対象に、受刑者の現状を知ってもらうため昨年度から始めた新たな取り組みです。

今年度は10機関から18名の方にご参加いただき、実際に熊本刑務所を見学してもらいました。その後、刑務官を交えて意見交換を行ったことで、福祉の支援が必要な受刑者がいるということをより深く知ってもらえたのではないかと思います。

今後も、福祉が必要な刑余者への支援の輪を広げていけるよう活動していきたいと思います。

